

第19回 全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会 開催要綱 ～重度重複と高齢の聴覚障害者の発達と権利を考える～ 実施要綱

1. 主 旨

障害者権利条約が批准して2年半、また障害者差別解消法が来年施行されます。戦後70年、阪神・淡路大震災から20年にあたる今年、第19回全国聴覚言語障害者研究交流集会は兵庫で開催します。団塊世代の高齢化により介護予算が増大するため、制度維持を理由に要支援者の介護保険はずしが決められました。要介護1.2の方の施設入居も困難にされました。さらに障害基礎年金など非課税年金の収入算定により自己負担増も予定されています。

一方、手話言語条例制定に向けての運動が盛り上がり言語的排除をはじめ、聴覚障害者の存在の排除をなくしていき、インクルーシブ社会作りにつなげることが期待されています。

当事者や事業所等で働く人たちの実態や要求、そして実践を持ち寄り、具体的な解決策を探求・提案してゆくこと、それを掲げた運動を強め広げてゆくことが重要です。

本集会では、実践や研究の交流を通して、

- ①それぞれの事業所における実践を持ち寄りさらに前に進める。
 - ②ろう者の生活発達ニーズを掘り起こし、新たに事業所の創設を進めようとしている地域での公的責任に基づく取り組み。
 - ③現在の制度における問題の提起と福祉予算の確保。
- という3つの柱を基に全国のなかまとともに、重複・高齢聴覚言語障害者の発達と権利保障の前進に努めます。

2. 主 催

社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会・社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会
社会福祉法人 埼玉聴覚障害者福祉会・社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会
社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・全国ろう重複児・者家族連絡会
協力 社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会、社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会、
特定非営利活動法人つくし

3. 主 管

第19回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会兵庫実行委員会
構成団体(予定/順不同)

(社福) ひょうご聴覚障害者福祉事業協会 / (公社) 兵庫県聴覚障害者協会 / 兵庫手話通訳問題研究会 / 兵庫県手話サークル連絡会 / 兵庫県要約筆記サークル連絡協議会

4. 後 援 (予定)

厚生労働省 / (社福) 全国社会福祉協議会 / 兵庫県 / 兵庫県教育委員会 / (社福) 兵庫県社会福祉協議会 / 神戸市 / 神戸市教育委員会 / (社福) 神戸市社会福祉協議会 / (公財) 兵庫県身体障害者福祉協会 / (社福) 神戸市身体障害者福祉団体連合会 / 神戸新聞社 / 朝日新聞神戸総局 / 読売新聞大阪本社 / 毎日新聞神戸支局 / 産経新聞神戸総局 / NHK神戸放送局 / サンテレビジョン

5. 協 賛 (予定)

(一財) 全日本ろうあ連盟 / (一社) 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 / (一社) 全国手話通訳問題研究会 / (一社) 日本手話通訳士協会 / (社福) 全国手話研修センター / 全国ろう学校PTA連合会 / 全国障害者問題研究会 / きょうされん / (特非) 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 / 全国ろう重複障害者施設連絡協議会 / 全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会 / (特非) ろう教育の明日を考える全国協議会 / 近畿ろうあ連盟 / 兵庫県立神戸聴覚特別支援学校PTA / 兵庫県立姫路聴覚特別支援学校PTA / 兵庫県立あわじ特別支援学校PTA / 兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校PTA / 全国ろうあヘルパー連絡協議会 / 全国聴覚・ろう重複児施設協議会 / 全国福祉保育労働組合兵庫地方本部ふくろう分会 / 淡路ふくろうの郷自治会 / たじま聴覚障害者センターふくろう自治会 / ひょうご聴障ネット / (特非) 兵庫県難聴者福祉協会 / (特非) 兵庫盲ろう者友の会

6. 開催期日 2015年11月21日(土)・22日(日)
7. 開催場所 神戸市勤労会館(神戸市中央区雲井通5丁目1-2)
8. 開催規模 500名
9. 参加資料代 5,000円

10. 企画内容
開会全体会

《開会式》 特別講演 「負けへんで！パート1 戦後70年 戦争と人生を語る」

淡路ふくろうの郷 施設長 大矢 暹氏
淡路ふくろうの郷入居者自治会 黒崎 時安氏 他

《入門講座》

重複聴覚障害者、高齢聴覚障害者の事例を通して、「聴覚障害」への理解を深めます。また、初心者向けの講座です。

講座1	「地域活動支援センターとは」 —在宅ろう者のひきこもり・孤立をなくし、生きがい、くらしづくりへの実践— 地域活動支援センター ほほえみ 廣田 しづえ氏(大阪)
講座2	「聴覚障害者の生活・人生に配慮のある特別養護老人ホームとは」 —介護保険制度の嵐の中で地域で生き、くらしを創る— 特別養護老人ホーム 淡路ふくろうの郷 生活援助員と入居者自治会(兵庫)
講座3	「聴覚障害児デイサービスとは」 —6月から開始した但馬の挑戦— たじま聴覚障害者センター 児童通所事業所(兵庫)
講座4	「就労継続支援B型とは」 —大震災があらわにした未就学高齢ろう者の 支援を発展させた実践と第6次産業への準備— おのころの家 支援員と仲間たち(兵庫)
講座5	「ろう者向けのグループホームとは」—必要性と実践、課題— グループホーム やすらぎ 管理者 長井 敬治氏(大阪)

《実践交流会》

内容 9つの分科会・分散会に分かれて、施設や作業所、事業所での重複障害者と高齢聴覚言語障害者への援助実践や研究を持ち寄り、交流・議論を深めます。また、地域で暮らす聴覚障害者の福祉ニーズを取り上げ、専門的援助の必要性を明らかにし、地域での援助の今後の課題について考え、提起します。

☆別掲分科会の案内を参照

《閉会全体会》

「負けへんで！パート2 だれもが排除されないインクルーシブな社会の拠点作りをめざして

～鳥取県の3つのセンターづくり～

講師 石橋 大吾氏

《引継ぎ》

次回集会への引継ぎと問題提起を行います。

《自主交流会》

参加者が発起人となり職種や立場、課題別に集まって交流を深めます。(自主交流会申込書参照)

《バザー》

全国各地の重複と高齢の聴覚言語障害者の作業所、施設、関係団体にて生産された自主製品等の展示販売を行います。(出店申込書参照)

1.1. 日程表

21日 (土)			時刻	22日 (日)		
入門講座	分科会	介助		入門講座	分科会	介助
共同研究者・司会者打合せ			9	入門講座	分科会	介助・保育
			10			
受付 12:00～		保護者からの引継ぎ	11	昼食休憩(1時間)		
開会式・基調報告 12:45～			12			
特別講演 13:00～15:00		介助・保育	13	入門講座	分科会	
移動			14	移動		
入門講座 分科会			15	閉会全体会 14:30～16:00		
移動			16			
自主交流会(自由参加) 17:30～18:30			17	保護者へ引継ぎ		
			18	特別企画(別紙参照)		
			19			
			20			

《開催地特別企画》

淡路ふくろうの郷、中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター

閉会式終了後、淡路島の民宿で一泊して豪華な海の幸を味わい、翌日淡路ふくろうの郷や中川原ふれあいセンターの見学、交流を楽しむという企画を計画しています。この特別企画の主催は全国聴覚障害者福祉研究交流集会淡路実行委員です。詳細は別紙にてご確認ください。皆様のご参加をお待ちしております!! (特別企画申込書参照)

<連絡先>

第19回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会事務局
 社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
 〒656-0002 兵庫県洲本市中川原町中川原 28 番地 1
 FAX: 0799-25-8551 / TEL: 0799-25-8550
 Email: 19th.zentyofukuken@gmail.com
 担当: 足立・岩林・楠本

第1分科会 労働と発達を考える

共同研究者	<p style="text-align: center;">小坂 淳子 氏</p> <p style="text-align: center;">大阪健康福祉短期大学 名誉教授</p>	<p>「働く」ということには、暮らしを支える収入を得る、なかま自らの生きがい、人々や社会とつながる等、様々な意味が含まれます。また、余暇やプライベートな時間の過ごし方が「人が豊かに働く」ことを支える大切な要素でもあります。</p> <p>「働く」には多様な側面を含んでおり、なかまが働くことを支援する私たちにも様々な創意工夫が求められます。障害を持つなかまにとって、働くことの目的や意味とは何か。生きがい、目標や希望など、日々の支援の中でなかまが投げかけてくれる。そんな様子と様々な創意工夫を交流します。</p>
助言者	<p style="text-align: center;">木村 公之 氏</p> <p style="text-align: center;">京都いこいの村 栗の木寮 施設長</p>	

第2分科会 心とからだの健康づくり

第1分散会 こころの健康

共同研究者	<p style="text-align: center;">河崎 佳子 氏</p> <p style="text-align: center;">神戸大学教授発達科学部・ 神戸大学院人間発達 環境学研究所</p>	<p>重複聴覚障害者の精神保健をテーマに、様々な職種の方が参加されています。</p> <p>病院、施設、作業所等での実践報告をもとに、様々な立場からの意見交換や、討議が行われ、現実には何が課題となっているのかを明らかにしてきました。</p> <p>1) 専門機関との連携を図りながら、どのように重複聴覚障害者に対しアプローチしていくのか。</p> <p>2) 重複聴覚障害者の特徴である、コミュニケーション面での問題を、生育歴や環境等を理解した上でどのように援助していったらよいのか。</p> <p>参加者との意見交換を大切にしながら、現場でできることは何なのかを意見交流します。</p>
助言者	<p style="text-align: center;">松本 正志 氏</p> <p style="text-align: center;">一般財団法人 全日本ろうあ連盟 理事</p>	

第2分散会 からだの健康

共同研究者	<p style="text-align: center;">片倉 和彦 氏</p> <p style="text-align: center;">東京都西多摩郡・ 双葉会診療所 所長</p>	<p>健康をテーマに、多種多様な健康へのニーズをより深く見つめ直します。</p> <p>入所施設支援、通所施設支援、地域生活支援等のあらゆる場面で、当事者や支援者が抱えている「健康」に関する悩みや課題を交流します。</p> <p>「健康」は日常生活上の大きな関心事でもあります。「健康」に関わる支援の専門性を深められるよう努めます。</p>
助言者	<p style="text-align: center;">小林 泉 氏</p> <p style="text-align: center;">社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者 福祉事業協会 副理事長</p>	

第3分科会 コミュニケーションと集団づくり

共同研究者	<p style="text-align: center;">竹沢 清 氏</p> <p style="text-align: center;">中部学院大学非常勤講師・ 元千種聾学校教諭</p>	<p>「その人の分かる方法をつかむ関わり、その方法の施行錯誤、互いに伝わった時の喜び、それらを含めてコミュニケーションになる」わかる、伝わる、伝わった喜びを共有する等、コミュニケーションが成り立つことで集団（仲間）が生まれ、また、集団（仲間）の中からコミュニケーションが育ちます。</p> <p>コミュニケーション保障と集団づくりの実践を交流します。</p>
助言者	<p style="text-align: center;">石橋 大吾 氏</p> <p style="text-align: center;">一般財団法人 全日本ろうあ連盟 理事</p>	

第4分科会 高齢聴覚障害者のくらしを施設で支える

共同研究者	<p style="text-align: center;">記 由美 氏</p> <p style="text-align: center;">京都いこいの村 梅の木寮 施設長</p>	<p>今までできていたことができなくなった時に、どんな支えがあれば安心して暮らすことができるでしょうか。高齢聴覚障害者にとって、身体の麻痺や衰えは、身体的な能力低下に加えてコミュニケーションの能力低下にもつながってしまいます。</p> <p>その人らしい人生を尊重し、生きる意欲を持っていただくための援助や介護について実践を交流します。</p>
助言者	<p style="text-align: center;">浅井 ひとみ 氏</p> <p style="text-align: center;">社会福祉法人 京都聴覚言語 障害者福祉協会</p>	

第5分科会 地域生活を考える

第1分散会 高齢聴覚障害者のくらしを地域で支える

共同研究者	<p>篠田 あゆみ 氏</p> <p>全国ろうあヘルパー 連絡協議会</p>	<p>高齢聴覚障害者が地域で暮らし続けるためには、地域や関係機関と連携した支援体制が必要になります。それぞれ地域の実践交流を中心に、高齢聴覚障害者が置かれてきた歴史的背景も含めて、「その人らしい地域生活」支援のあり方を考えます。</p> <p>また実践の交流から、制度の問題点・課題を明らかにします。</p>
助言者	<p>山本 紋子 氏</p> <p>公益社団法人 兵庫県聴覚障害者協会 理事</p>	

第2分散会 重複障害者のくらしを地域で支える

共同研究者	<p>吉見 剛二 氏</p> <p>あすくの里 施設長</p>	<p>重複聴覚障害児・者の地域生活に必要な資源は様々です。地域での自立した生活を支援するためには、既存の資源に加えて、新しい社会資源の創出が必要になることもあります。どのような資源があれば、重複聴覚障害児・者が地域で豊かに暮らせるのか、また支援体制はどうあるべきか等、実践交流から考えます。</p>
助言者	<p>岩本 吉正 氏</p> <p>公益社団法人 兵庫県聴覚障害者協会 理事</p>	

第6分科会 家族の願いと家族会

共同研究者	<p>河合 めぐみ 氏</p> <p>ふれあいの里どんぐり 施設長</p>	<p>重複聴覚障害児・者の親、家族が抱える悩みや思いを交流し、親・家族の置かれている実態を明らかにします。また、悩みや思いを率直に出し合い共有することで、一人ぼっちで孤立する家族をなくします。学びを共有し、明日への希望につなぐ交流をつくります。</p>
助言者	<p>奥本 初美 氏</p> <p>社会福祉法人 京都聴覚言語 障害者福祉協会 事務局長 元 いこいの村 梅の木寮 施設長</p>	

第7分科会 福祉実践と福祉制度のあり方

共同研究者	<p>志藤 修史 氏</p> <p>大谷大学教授</p>	<p>障害者総合支援法の成立3年後の見直しが迫っています。また介護保険法が利用者負担増の方向に改訂されています。これらの中での事業経営・運営を考えます。</p> <p>施設及び事業所の会計問題や成功例を出し合い現状を共有し、制度改善に向けた課題を整理し、取り組みや運動を考えます。</p>
助言者	<p>大矢 暹 氏</p> <p>社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者 福祉事業協会 理事長</p>	

第8分科会 聴覚障害児の発達を考える

共同研究者	<p>村上 栄子 氏</p> <p>特定非営利活動法人 つくし</p>	<p>少しずつ聴覚障害児向け放課後等デイサービスなどが開所されてきています。しかしその数を今後さらに増やしてゆく必要があります。また人工内耳や難聴の子どもも多く、アイデンティティの確立を含めて新たな障害がつけられています。未来を担う子どもたちのためにも今年度より新しい分科会を設けました。今後の取り組みや問題点、課題について考えていきます。</p>
-------	--------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参加申し込みのご案内

1. 集会参加資料代 5,000 円
2. 昼食代（お茶付） 1,000 円 ※22 日（日）のみ昼食の注文を受け付けます。
3. 第 18 回報告集 1,000 円
昨年（2014 年）大阪集会の報告集です。分科会参加をご希望の方は、昨年度の到達点を報告集でご確認のうえ、ご参加ください。
※今年度（第 19 回）集会報告集をご希望の方は、当日分科会会場でお申し込みください。
4. 宿泊 本集会にかかわる宿泊案内は行いません。各自で申し込みください。
なお、三宮（JR・阪急・阪神）駅周辺が大会参加には便利です。
5. 介助・保育
ご家族の参加を保障するために、別室にて介助（ろう重複児・者）及び幼児保育を行います。ご希望の方は下記の内容をご了承のうえ、所定欄にご記入ください。
 - ①介助・保育料 1,000 円（1 人 1 日当たり／おやつ、教材費、傷害保険等）
 - ②介助・保育時間 21 日（土）12：00～19：00
22 日（日）9：00～16：00
※昼食介助はありません。ご家族と一緒にお願いします。
 - ③年齢制限 ろう重複児・者の介助年齢上限はありません。
幼児保育でお預かりできるのは、3 歳以上就学前までに限ります。
 - ④その他 当日の介助・保育申し込みはお受けできません。
6. 参加申し込み方法
別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、下記集会事務局に F A X かメールにてお申し込みください。盲ろうの方は、同封の「盲ろう者参加申込書」にてお申し込みください。
7. 送金方法 ※お振込みの締切は 9 月 30 日（水）です。
お申し込みと同時に郵便振替にて、諸費用をお振込みください。
振込み手数料はご負担ください。
振込先（郵便振替） 口座番号：00940-7-194692
加入者名：全聴福研兵庫大会
※通信欄に費用内訳をご記入ください。
8. キャンセル 諸費用受領後のキャンセルはご返金できません。予めご了承ください。
9. 申込締切 2015 年 9 月 30 日（水）期日厳守（必着）
※レポート計画書締切日 8 月 31 日（月）、原稿締切日 9 月 21 日（月）です。

申し込み先 第 19 回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会 事務局
〒656-0002 兵庫県洲本市中川原町中川原 28 番地 1
特別養護老人ホーム 淡路ふくろうの郷内
FAX：0799-25-8551／TEL：0799-25-8550
E メール：19th.zentyofukuken@gmail.com

第19回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会in兵庫 介助・保育申込書

介助・保育対象者氏名	年齢	性別		申込者氏名	
ふりがな	歳	男性	女性	ふりがな	
介助時間	21日 (土)	:	~	:	22日 (日)
障害の有無	聴覚 障害	健聴	ろう重複障害 (
コミュニケーション手段	手話 絵	・ 身振り ・ その他 (・ 指差し	・ 口話	・ 筆談)
薬の有無 服用時の留意点	無 ・ 有 ()				
趣味・好みの遊び等					
おやつが好き嫌い アレルギーなど	無 ・ 有 ()				
対応上の留意点 その他の特記事項					

介助・保育対象者参加諸費用

	21日	介助・保育	1,000円
	22日	介助・保育	1,000円
		昼食代	1,000円
合 計	円		

申し込み項目に○をご記入ください。

参加費用は、郵便振替にてご入金ください。

*ご兄弟、複数名の申込は、同用紙を複写してご使用ください。

事務局使用欄 (処理日・印)	
番号	受付
入力	受領

左記、合計金額を集会申込書に転記して介助・保育申込書ともに事務局へご返信ください。

FAX 0799-25-8551

Eメール 19th.zentyofukuken@gmail.com

お申込にあたって、ご提出いただく個人情報は集会運営に限り適正に使用いたします。

第19回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会in兵庫 出店申込書

施設名・作業所名・団体名		担当者氏名
FAX	TEL	
当日に持参する ・ 送付希望 ※11月21日午前必着		
○当日の販売責任者氏名	携帯TEL	
	携帯アドレス	

《出店の条件》

「第19回全聴福研」参加者であり、下記の所属団体であること

- (1) 全国ろう重複障害者施設連絡協議会加盟作業所・施設
- (2) 全国高齢聴覚障害者福祉施設連絡協議会加盟施設
- (3) ろう重複障害者作業所・施設建設中の団体
- (4) その他聴覚障害者福祉関係施設及び団体

《出店申し込み》

- (1) 申込書に記入して事務局まで送付ください。
- (2) 申し込み締め切り：2015年9月30日（水）必着

《物品の送付について》

- (1) 送付締切：11月21日（土）の午前中指定で会場へ送ってください。
神戸勤労会館気付 全聴福研事務局宛
※詳細は、申込みの団体へ連絡させていただきます。
物品の事故・破損については、実行委員会では責任を負いかねます。
ご了解ください。
- (2) 集会終了後物品は各自で持ち帰ってください。
料金着払いで送付を受け付けます。

《その他》

- (1) 宣伝掲示、物品の陳列、販売、売上げ集計、全て各団体で行ってください。
- (2) 販売・陳列スペースは長机半分程度（60cm×90cm）を準備します。
- (3) 陳列・販売の準備は、21日（土）11時から始めていただけます。
販売場所は全体会/入門講座を開催する大ホール前のロビー（7階）
- (4) 特に制約はありませんが、価格表示をわかりやすくする、消費税は内税とする等、ご協力をお願いします。売上げは、各自でお持ち帰りください。

FAX：0799-25-8551

Eメール：19th.zentyofukuken@gmail.com

第1分科会 労働と発達を考える

小坂 淳子 氏
 反健康福祉短期大学
 名誉教授

「働く」ということには、暮らしを支える収入を得る、なかま自らの生きがい、人々や社会とつながる等、様々な意味が含まれます。また、余暇やプライベートな時間の過ごし方が「人が豊かに働く」ことを支える大切な要素でもあります。
 「働く」には多様な側面を含んでおり、なかまが働くことを支援する私たちにも様々な創意工夫が求められます。障害を持つなかまにとって、働くことの目的や意味とは何か。生きがい、目標や希望など、日々の支援の中でなかまが投げかけてくれる。そんな様子と様々な創意工夫を交流します。

寸 公之 氏
 いこいの村
 大寮 施設長

第2分科会 心とからだの健康づくり

第1分散会 こころの健康

重複聴覚障害者の精神保健をテーマに、様々な職種の方が参加されています。部、施設、作業所等での実践報告をもとに、様々な立場からの意見交換や学びの機会を明らかにして

重複聴覚障害者に対し

オン面での問題を、いったらよいか。できることは何なのか

深く見つめ直しま

らゆる場面で、当事者を交流します。「健康」に関わる

福祉研究交流集会 開催要綱
 者の発達と権利を考える～
 要綱

解消法が来年施行されます。戦後70年、阪神・言語障害者研究交流集会は兵庫で開催します。維持を理由に要支援者の介護保険はずしが決まりました。さらに障害基礎年金など非課税年金語的排除をはじめ、聴覚障害者の存在の排とが期待されています。を持ち寄り、具体的な解決策を探求・提重要です。

さらに前に進める。起こし、新たに事業所の創設を進めようとしている地域での公的責

ける問題の提起と福祉予算の確保。基に全国のなかまとともに、重複・高齢聴覚言語障害者の発達と権利保障の前進に

ひょうご聴覚障害者福祉事業協会・社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会
 埼玉聴覚障害者福祉会・社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会
 大阪聴覚障害者福祉会・全国ろう重複児・者家族連絡会
 法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会、社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会、
 利活動法人つくし

言語障害者福祉研究交流集会兵庫実行委員会
 順不同)

らご聴覚障害者福祉事業協会／(公社)兵庫県聴覚障害者協会／兵庫手話通訳問題研
 手話サークル連絡会／兵庫県要約筆記サークル連絡協議会

福)全国社会福祉協議会／兵庫県／兵庫県教育委員会／(社福)兵庫県社会福祉協議
 市教育委員会／(社福)神戸市社会福祉協議会／(公財)兵庫県身体障害者福祉協
 市身体障害者福祉団体連合会／神戸県聴覚障害者福祉会／神戸県聴覚障害者福祉

自主交流会を開きませんか？

集会参加者が自主的に開催する「自主交流会」を企画しませんか。

「活動・運動を共にする全国の仲間と情報交換がしたい」、「同じ職種の仲間と仕事の悩みを語りたい」など、集いの機会を希望される方、事務局までお知らせください。会場の提供をさせていただきます。

例えば・・・

- ・聴覚障害職員
- ・後援会活動
- ・家族会活動
- ・法人事務担当
- ・生活支援事業
- ・ホームヘルパー などなど・・・

交流会を希望される方は、参加申込書と合わせてこの用紙を事務局まで送信してください。交流会の運営は発起人の方にお任せします。ご了承ください。

申込締切

9月30日

FAX:0799-25-8511

Eメール: 19th.zentyofukuken@gmail.com

切り取らずそのままお申込みください。

ふりがな 発 起 人	所属団体・部署等
住所 〒	
FAX	TEL
Eメール	
交流会名	
主な内容	

2015年11月22日(日)～23日(月)



地域で生きる 暮らしを創る施設づくり 淡路島のとりくみ

その1 11/22 まずは日頃の疲れをリフレッシュ！海の幸たっぷりのごちそうをお召し上がり下さい♪

海の幸いっぱいのごちそうと交流を楽しみましょう！



新鮮な魚がいっぱい！

その2 戦後70年と震災から20年。それぞれの当時の様子。高齢者の人生語り。



戦後70年。私たちは再び戦時を生きたくありません。



阪神淡路大震災から20年。当時の様子を語る。



淡路がめざす手話言語条例とは

その3 地元とれたて野菜を使ってみんなで手作り、燗製とピザ窯で焼くピザランチパーティ♪



本格ピザ窯で焼きたてのピザは最高ですよ。

その4 「中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター」とは？

おたがいさま中川原って？



畑の収穫体験もできるかも？

参加費： 16,000円(宿泊費・食事代・交通費・資料代等)
申込締切： 2015年9月30日(交流集会申込書にて)
定員： 25名。

主催 全国聴覚障害者福祉研究交流集会淡路実行委員

協力 淡路聴力障害者協会

淡路中途失聴難聴者の会 南あわじ中途失聴難聴者の会

手話サークルあわじ・津名・三原

淡路OHPの会 (社福)ひょうご聴覚障害者福祉事業協会

問い合わせ先 TEL 0799-25-8550 FAX 0799-25-8551(竹原・竹内)

第19回全国聴覚言語障害者福祉研究交流会in兵庫 参加申込書

※該当区分にご記入ください	
	一般参加
	司会者
	要員参加
	実行委員会

※該当する欄に、○及び必要事項をご記入ください。

ふりがな		男性		区分		必要な援助内容	
氏名		女性			聴覚障害者		手話通訳
					健聴者		要約筆記
					ろう重複障害者		磁気ループ
住所	〒			重複する障害		その他特記事項	
TEL		FAX		平日昼間の 連絡先	TEL	FAX	

所属機関		職種			役職名
聴障団体関係		支援員		看護師	
手話関係		栄養士		調理員	
家族関係		通訳者		相談員	
施設関係		ヘルパー		教員	
関係機関		医師		SW	その他の職種
その他		ケアマネージャー		施設長	

※入門講座または分科会（第1・第2希望）のどちらかを選び○でご記入ください。

入門講座及び実践交流会（分科会・分散会）					第1希望	第2希望
入門講座						
分科会	第1	労働と発達を考える				
	第2	心とからだの健康づくり	分散会1	こころの健康		
			分散会2	からだの健康		
	第3	コミュニケーション保障と集団づくり				
	第4	高齢聴覚障害者の暮らしを施設で支える				
	第5	地域生活を考える	分散会1	高齢聴覚障害者の暮らしを地域で支える		
			分散会2	重複聴覚障害者の暮らしを地域で支える		
	第6	家族のねがいと家族の会				
第7	福祉実践と福祉制度のあり方					
第8	聴覚障害児の発達を考える～聴覚障害児の支援や相談を通して～					
★特別企画（淡路一泊、ふくろうの郷・中川原ふれあいセンター見学）						

参加諸費用

参加費	5,000円
第18回報告集	1,000円
21日 昼食代	1,000円
特別企画	16,000円
介助保育の申込	※別紙合計額を記入 円
合計	円

事務局使用欄（処理日・印）	
番号	受付
入力	受領

申込書を事務局までご返信ください。

FAX 0799-25-8551

Eメール 19th.zentyofukuken@gmail.com

参加諸費用を郵便振替にてご入金ください。

口座番号 00940-7-194692

加入者名 全聴福研兵庫大会

お申込にあたって、ご提出いただく個人情報等は集会運営に限り適正に使用いたします。

第19回全国聴覚言語障害者福祉研究交流会in兵庫 盲ろう者用参加申込書

※該当する欄に、○及び必要事項をご記入ください。

ふりがな	性別	区分	必要な援助内容
氏名	男性	弱視	触読手話通訳
	女性	全盲	対面通訳
住所	〒		
TEL	FAX		
所属機関			
聴障団体関係			
友の会関係			
施設関係			
その他			
			役職名

※入門講座または分科会（第1・第2希望）のどちらかを選び、○でご記入ください。

入門講座及び実践交流会（分科会・分散会）				第1希望	第2希望
入門講座					
第1	労働と発達を考える				
第2	分散会1	こころの健康			
	分散会2	からだの健康			
第3	コミュニケーション保障と集団づくり				
第4	高齢聴覚障害者の暮らしを施設で支える				
第5	分散会1	高齢聴覚障害者の暮らしを地域で支える			
	分散会2	重複聴覚障害者の暮らしを地域で支える			
第6	家族のねがいと家族の会				
第7	福祉実践と福祉制度のあり方				
第8	聴覚障害児の発達を考える～聴覚障害児の支援や相談を通して～				
★特別企画（淡路一泊、ふくろうの郷・中川原ふれあいセンター見学）					

※実行委員会では通訳のみを配置します。それ以外の介助（ガイドヘルパー等）の必要な方は、各自でご手配くださるようお願いいたします。

参加諸費用

参加費	5,000円
第18回報告集	1,000円
22日 昼食	1,000円
特別企画	16,000円
介助保育の申込	※別紙合計額を記入 円
合計	円

事務局使用欄（処理日・印）	
番号	受付
入力	受領

申込書を事務局までご返信ください

FAX 0799-25-8551

Eメール 19th.zentyofukuken@gmail.com

参加諸費用を郵便振替にてご入金ください

口座番号 00940-7-194692

加入者名 全聴福研兵庫大会

お申込にあたって、ご提出いただく個人情報等は集会運営に限り適正に使用いたします。

11月22日～23日行程表

11月22日	16:30	会場発
	18:00	宿泊施設『民宿 はぎわら』着
	18:30～20:30	夕食・交流・宿泊
11月23日	9:30～11:00	「淡路ふくろうの郷」見学・交流
	11:00～13:30	「中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター」にてピザ窯で焼くピザランチと就労支援B型「おのころの家」で畑収穫体験
	14:30	洲本高速バスセンター又は洲本 I.C より各自解散

参加ご希望の方は交流集会参加申込書にて申し込むと共に、下記に記入し、「淡路ふくろうの郷」までFAXをお願いします。

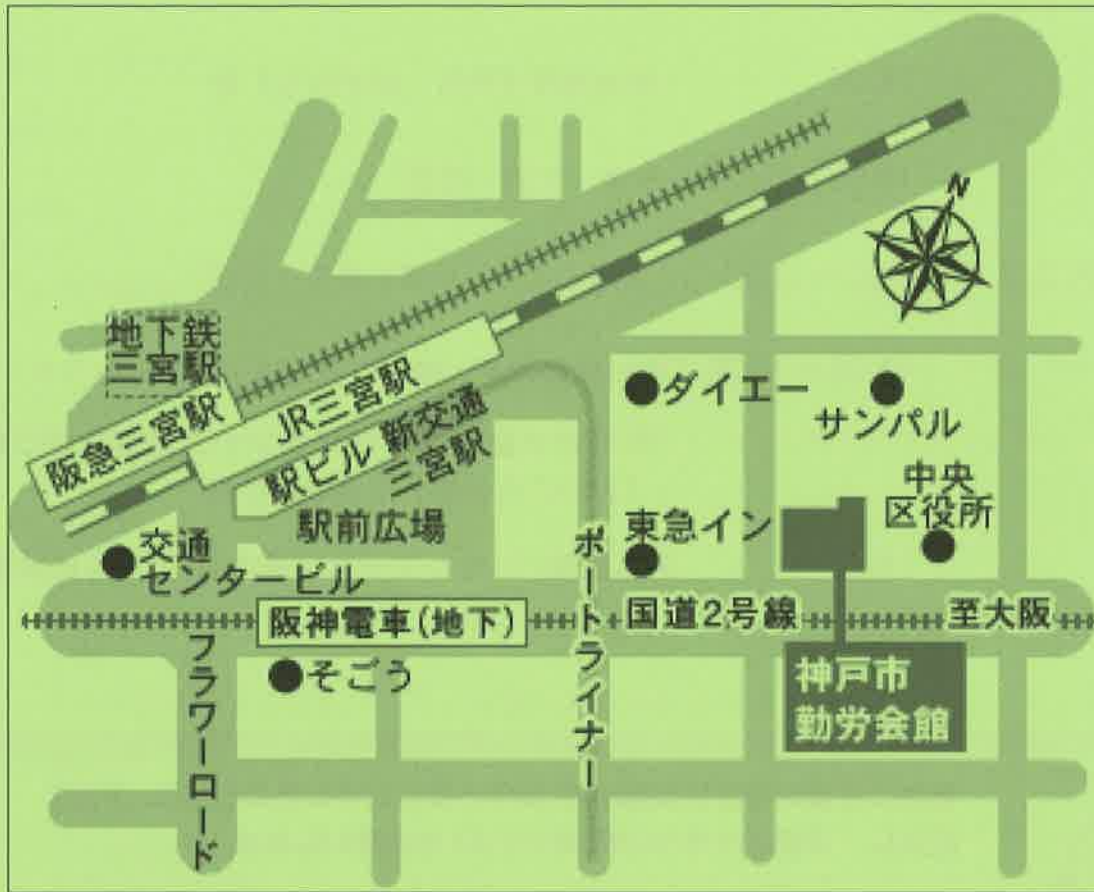


FAX 0799-25-8551

全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会特別企画申込書

(ふりがな) 氏 名		(聴覚障害者) (健聴者)
住 所		☎又は FAX ()
宿泊については合部屋となります。同室希望の方がいらっしゃる場合は氏名ご記入ください。(2人～5人)		同室希望者のお名前
その他 ご意見があれば記入してください。		

アクセスマップ



新幹線でお越しの場合

地下鉄新神戸駅 → 地下鉄三宮駅 →

神戸市勤労会館

飛行機でお越しの場合

ポートルライナー利用
 神戸空港駅 → 三ノ宮駅 →

徒歩 5 分

神戸市勤労会館

〒651-0096

神戸市中央区雲井通 5 丁目 1-2

TEL 078-232-1881 / FAX 078-232-1876

市営地下鉄・JR・阪急・阪神・ポートルライナー

各三宮駅から東へ徒歩 5 分